

# 羽曳野市 人権に関する市民アンケート報告書 【概要版】

## 調査の概要

### ● 調査目的

本市では、平成 23（2011）年度に策定した「羽曳野市人権施策基本方針及び基本計画」が計画期間の 10 年を経過するにあたり、この間の社会情勢や国及び大阪府の施策動向等への対応、また、羽曳野市総合基本計画や各種の個別計画、方針との整合を図りながら、今後の羽曳野市の人権に関する施策の総合的かつ計画的な取り組みを推進するため、令和 3（2021）年度末に策定する第 2 期計画に向けた基礎資料として活用することを目的とし、アンケート調査を実施しました。

### ● 調査対象

羽曳野市の住民基本台帳から無作為に抽出した市民 2,000 人

### ● 調査方法

郵送配布・郵送回収

### ● 調査期間

令和 2（2020）年 8 月 31 日（月）～9 月 30 日（水）まで

### ● 回収状況

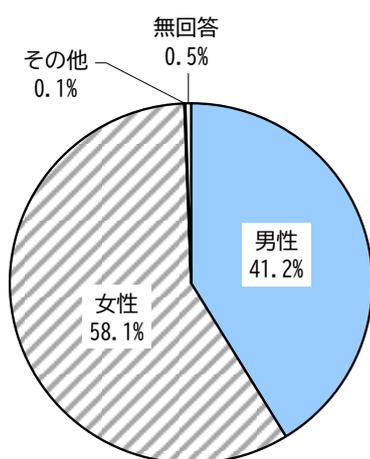
配布数 2,000 件      有効回収数 948 件      有効回収率 47.4%

### ● 留意点

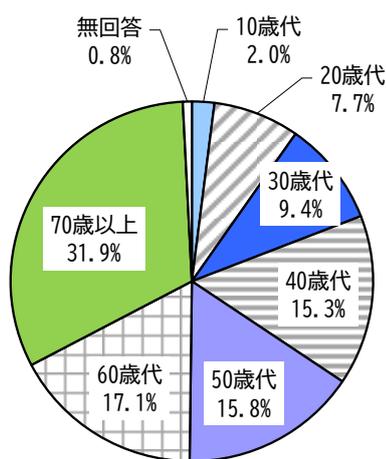
- ・「平成 23（2011）年度羽曳野市人権に関する市民意識調査（有効回収数 661 件）」（以下「前回調査」という。）をもとに近年の動向を踏まえた集計項目を掲載しています。
- ・この概要版は、報告書本編から抜粋したものですので、調査結果の詳細は本編をご覧ください。

### ● 回答者の基本属性

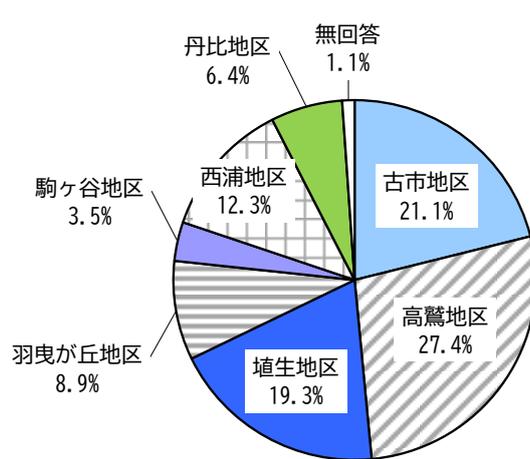
回答者の性別



回答者の年代



回答者の居住地区

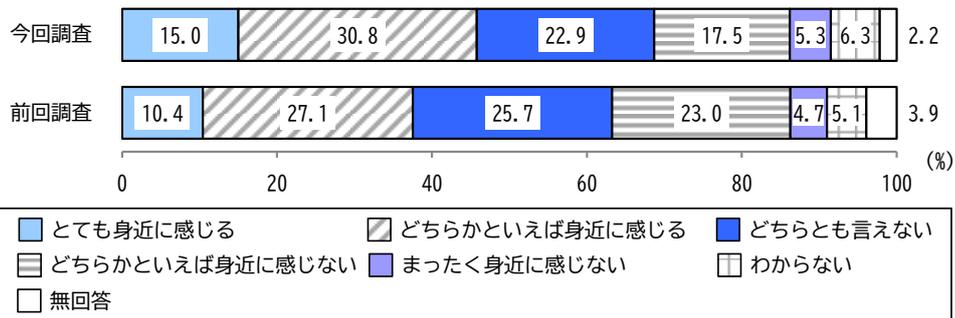


令和 3（2021）年 3 月  
羽曳野市

## ● 人権問題全般について

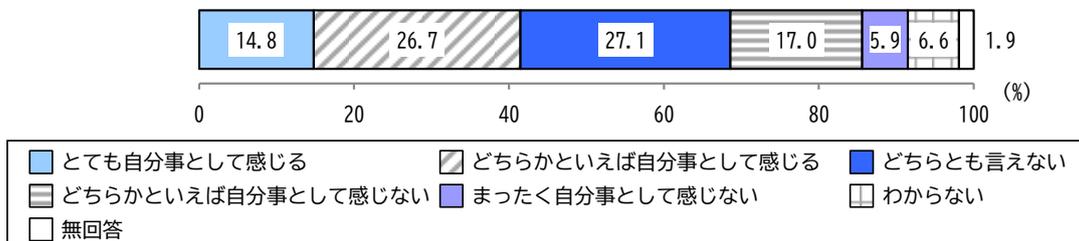
### Q 「人権」を、身近な問題として感じていますか？

- ・「とても身近に感じる」と「どちらかといえば身近に感じる」を合わせて 45.8%。
- ・身近に感じている人は、前回調査と比べて 8.3 ポイントの増加。



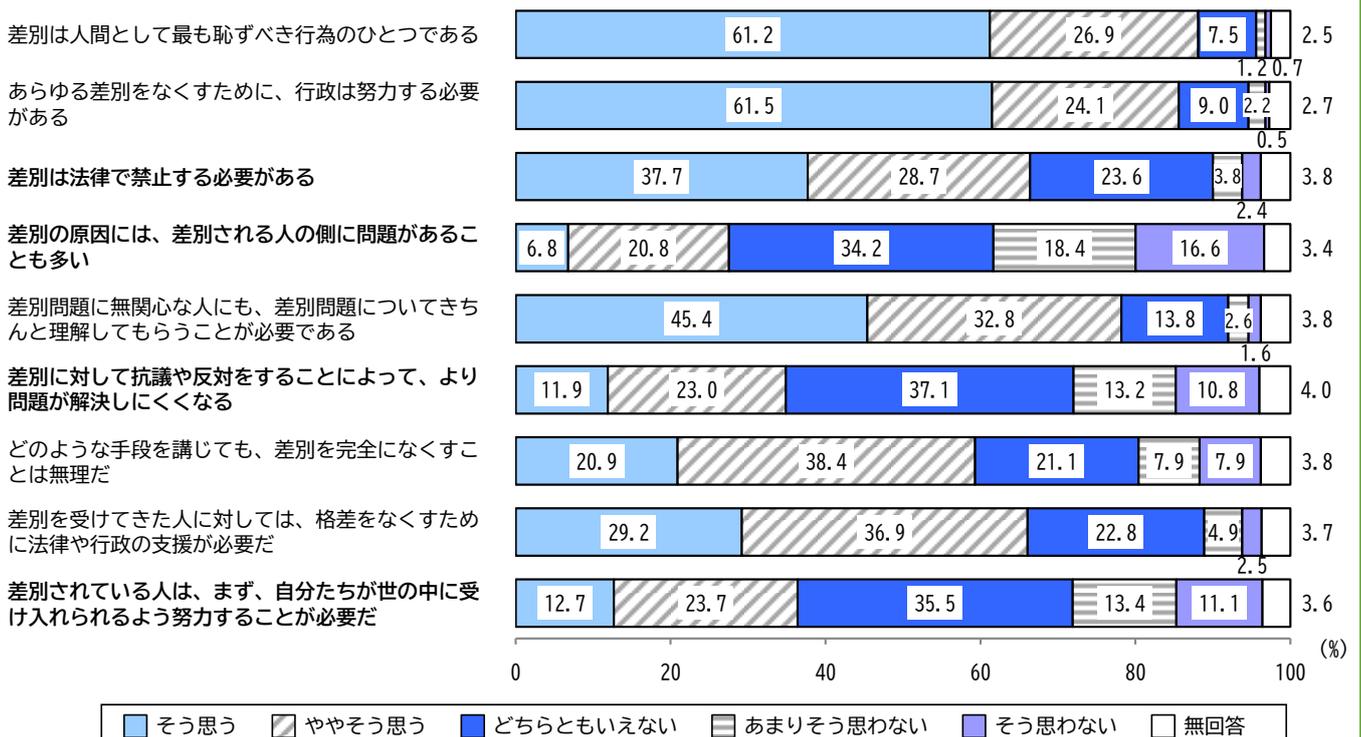
### Q 「人権」を、「他人事（ひとごと）」ではなく、「自分事」として感じていますか？

- ・「とても自分事として感じる」と「どちらかといえば自分事として感じる」を合わせて 41.5%。



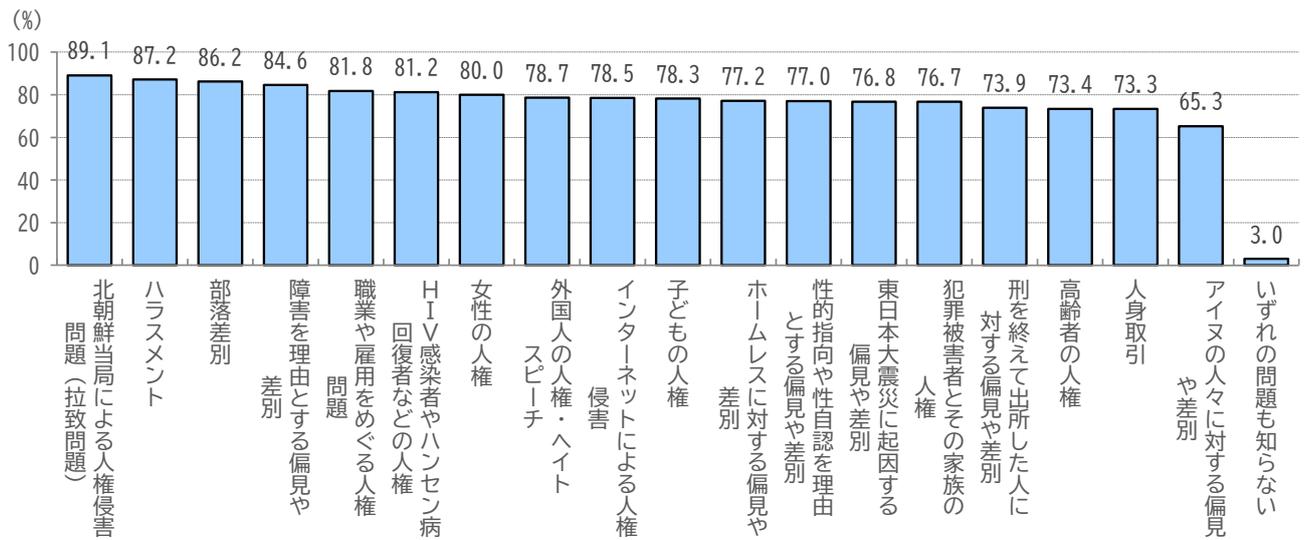
### Q 一般的に「差別」というものを、どのように考えていますか？

- ・差別は法律で禁止する必要がある（肯定 66.4%、否定 6.2%）
- ・差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い（肯定 27.6%、否定 35.0%）
- ・差別に対して抗議や反対をすることによって、より問題が解決しにくくなる（肯定 34.9%、否定 24.0%）
- ・差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ（肯定 36.4%、否定 24.5%）



**Q 次の人権に関する問題を知っていますか？**

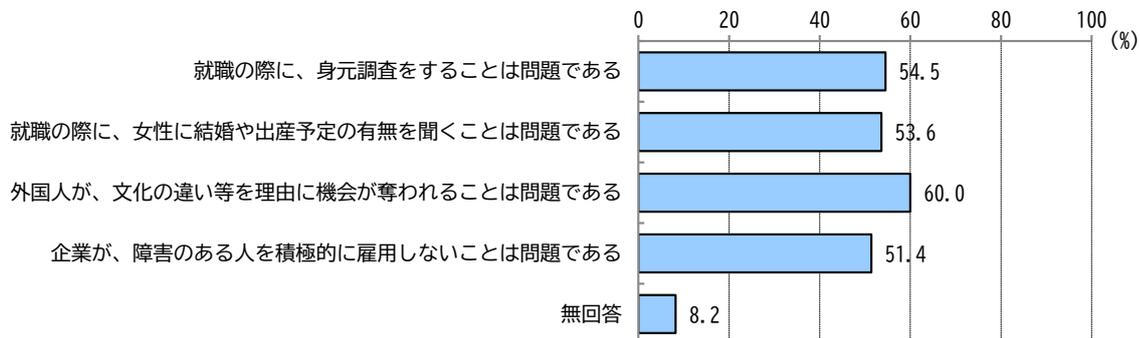
・認知度が最も高い人権問題は「北朝鮮当局による人権侵害問題（拉致問題）」（89.1%）



**● 日常での人権意識について**

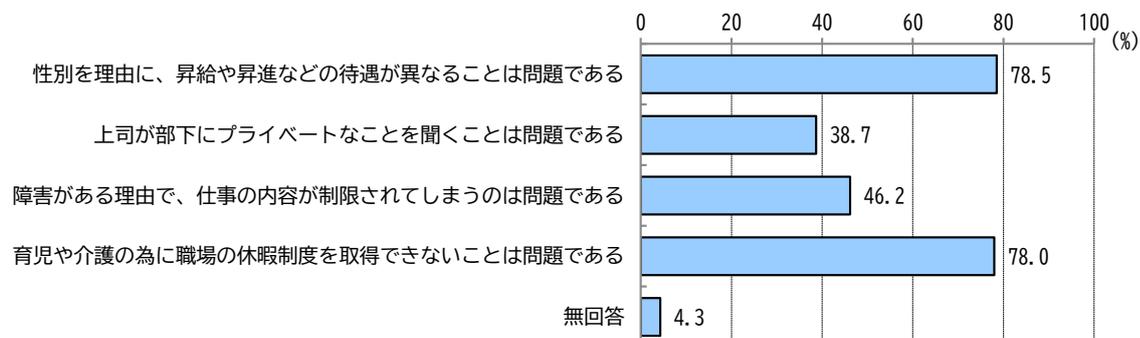
**Q 就職における場面で問題と思うことはどのようなことですか？**

・「外国人が、文化の違い等を理由に機会が奪われることは問題である」が最も多い。（60.0%）



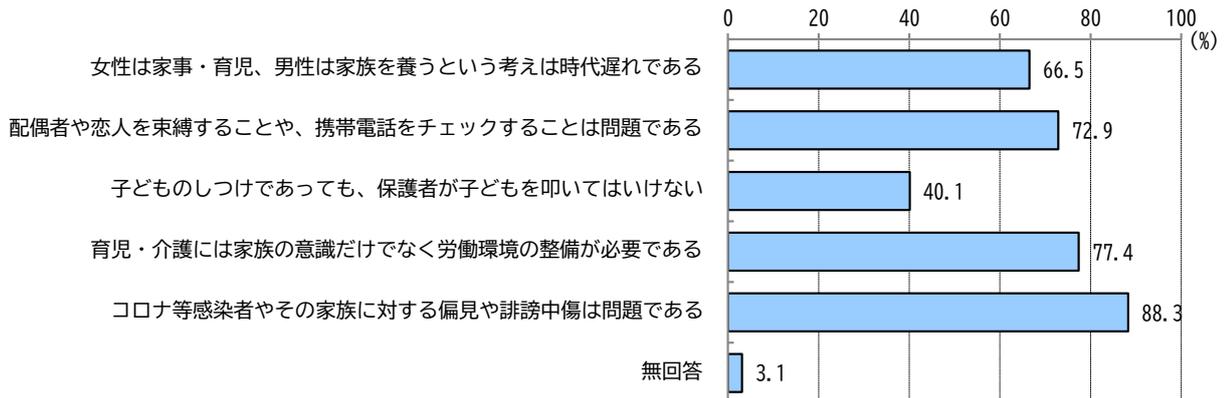
**Q 職場における場面で問題と思うことはどのようなことですか？**

・「性別を理由に、昇給や昇進などの待遇が異なることは問題である」は 78.5%。  
 ・「育児や介護の為に職場の休暇制度を取得できないことは問題である」は 78.0%。



**Q 家庭生活の場面で問題と思うことはどのようなことですか？**

・「子どものしつけであっても、保護者が子どもを叩いてはいけない」が 40.1%と低くなっている。

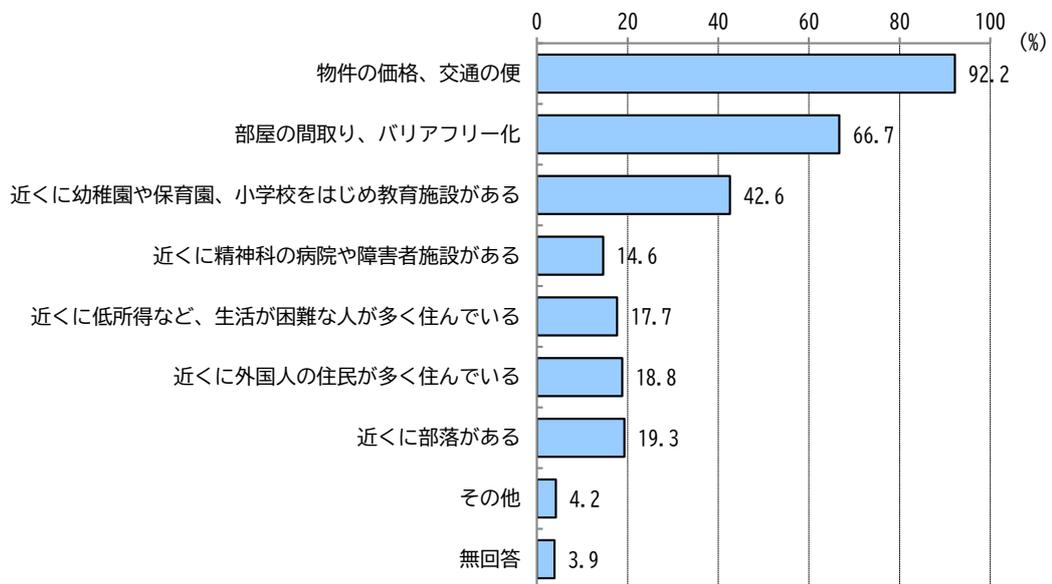


**Q 住宅を選ぶ際に、気になることはどのようなことですか？**

・「近くに低所得など、生活が困難な人が多く住んでいる」は 17.7%。

・「近くに外国人の住民が多く住んでいる」は 18.8%。

・「近くに部落がある」は 19.3%。

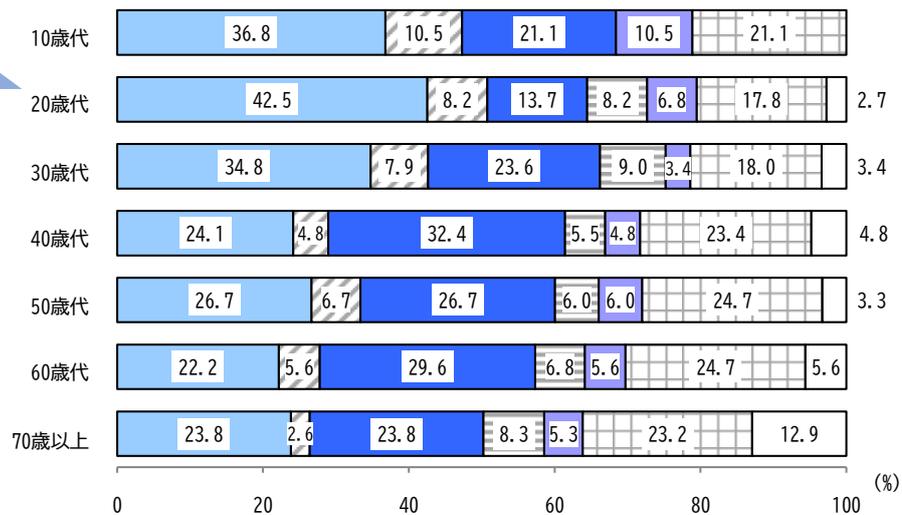


**Q あなた自身またはあなたの家族の結婚相手を、次の項目だけで考えたとき、気になりますか？**

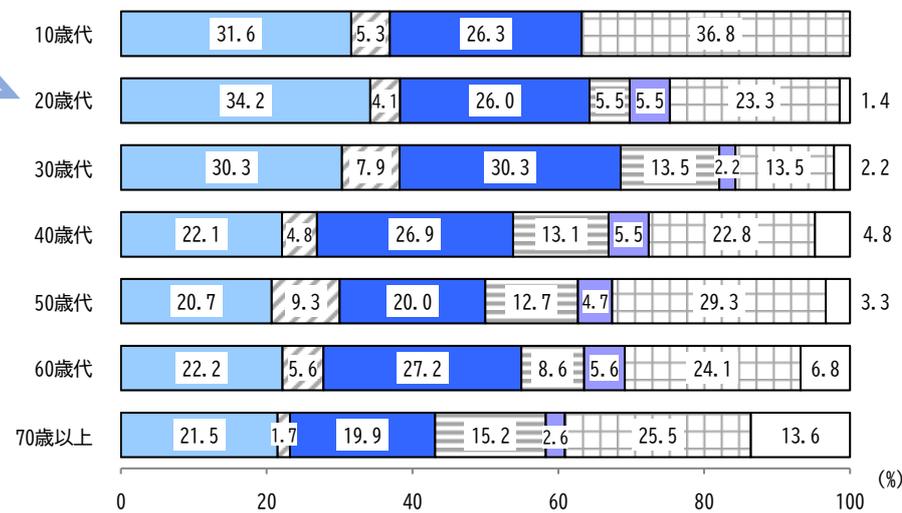
・「国籍・民族」「障害者」「部落出身」のいずれも、気にならない割合は10～30歳代で高い。

<年代別>

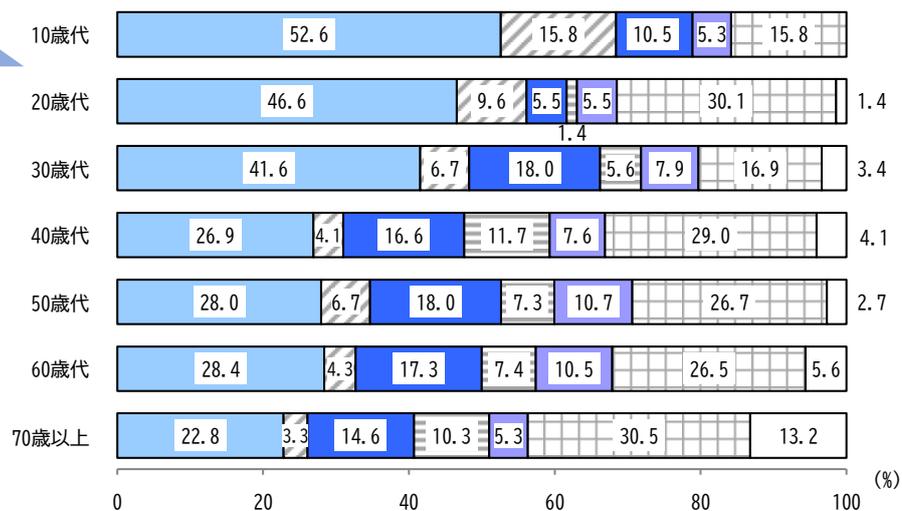
**国籍・民族**



**相手やその家族が障害者かどうか**



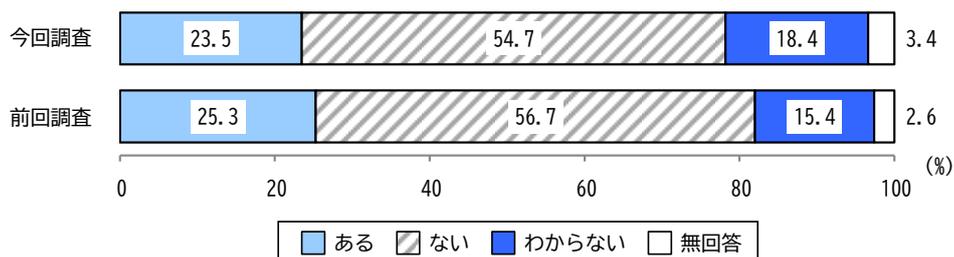
**部落出身かどうか**



気にならない  
 迷いながらも結婚しない (反対する)  
 無回答  
 ためらうことなく結婚する (賛成する)  
 迷いながらも結婚する (賛成する)  
 ためらうことなく結婚しない (反対する)  
 わからない

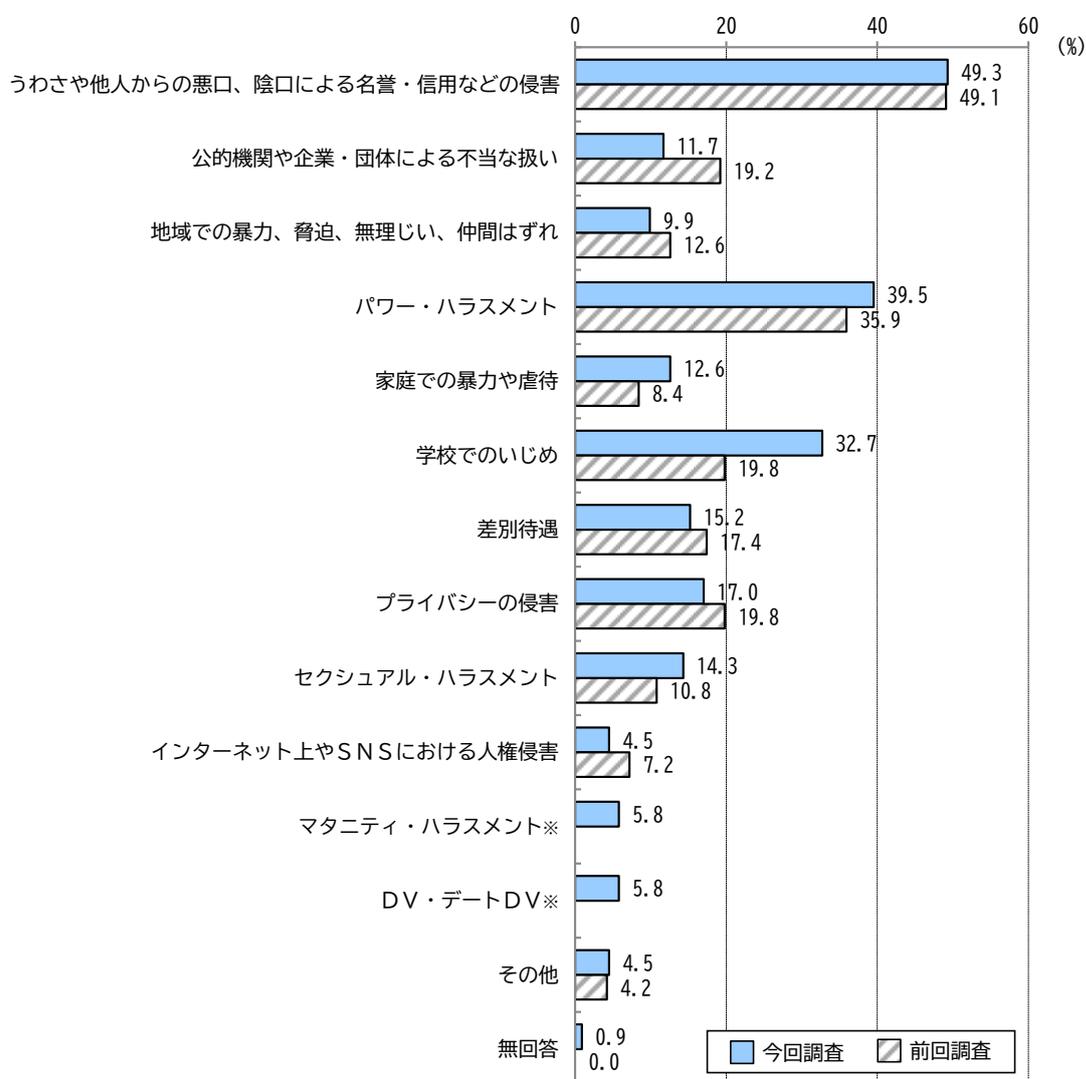
**Q** 今までに、自己的人権が侵害されたと思ったことがありますか？

- ・約4人に1人は、人権侵害されたと思ったことがある。(23.5%)
- ・前回と比べても大きな変化はみられない。



**Q** どのような人権侵害でしたか？

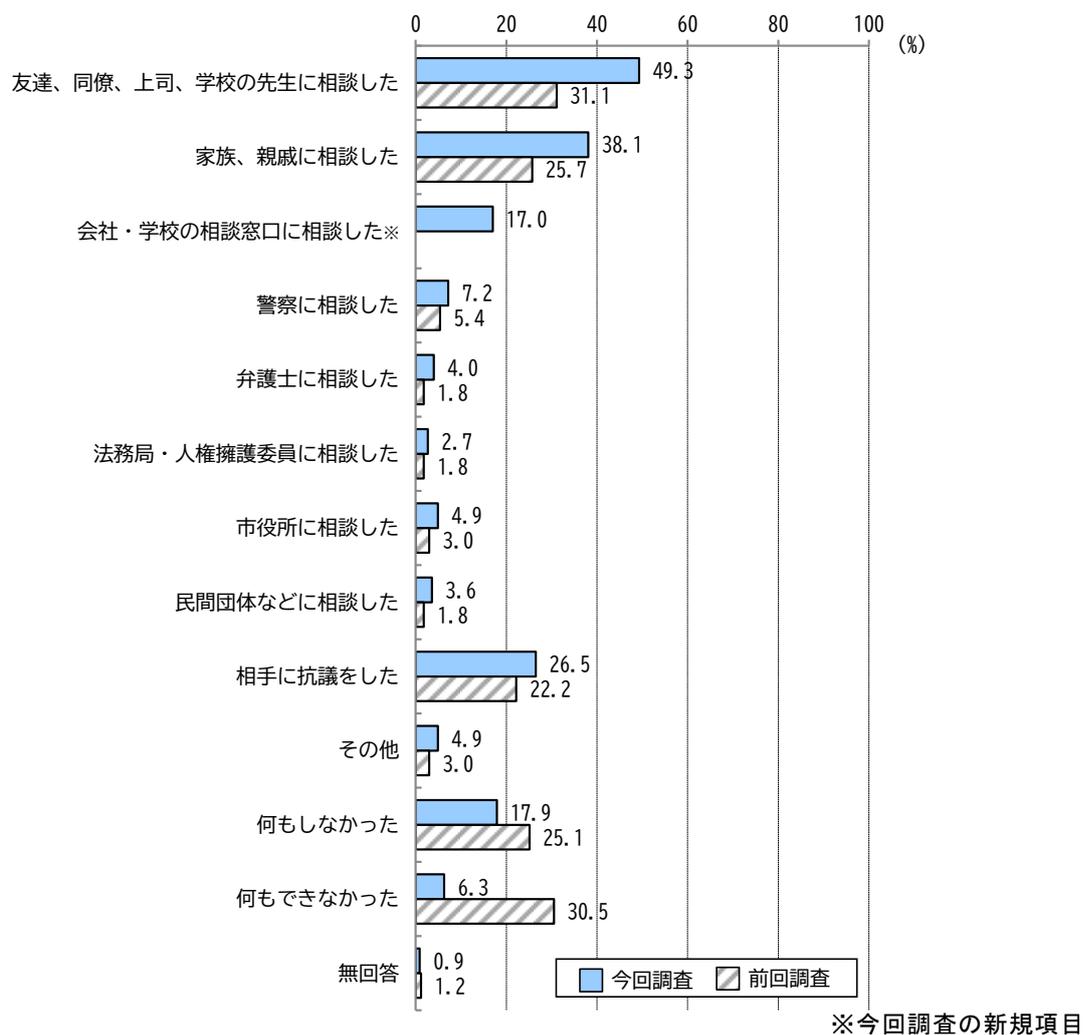
- ・人権侵害の内容は「うわさや他人からの悪口、陰口による名誉・信用などの侵害」が最も多い。(49.3%)
- ・前回と比べて「パワハラ」「家庭での暴力や虐待」「学校でのいじめ」「セクハラ」が増加。



※今回調査の新規項目

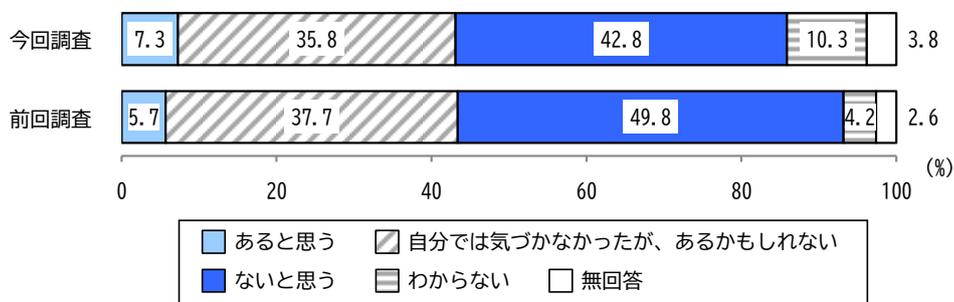
**Q 人権侵害を受けたとき、どうしましたか？**

- ・ 公的機関に相談する人は比較的少ない。
- ・ 前回と比べて、何らかの行動を起こした人が増加している。



**Q 今までに、他人の人権を侵害したことがあると思いますか？**

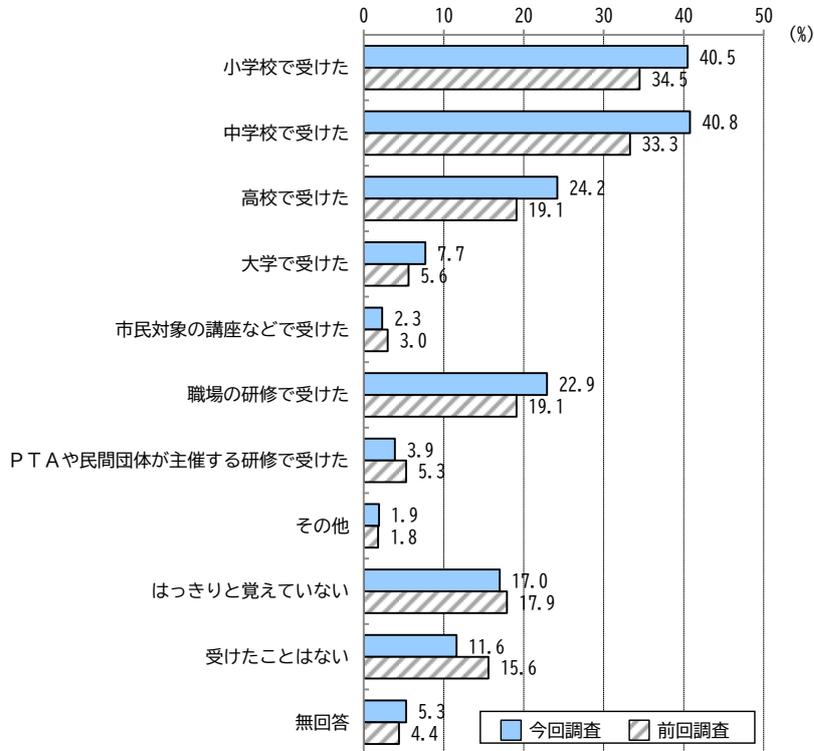
- ・ 他人の人権を侵害したことがあると思う人は7.3%。
- ・ 前回と比べて、人権侵害をしたことがないと思う人は7.0ポイントの減少。



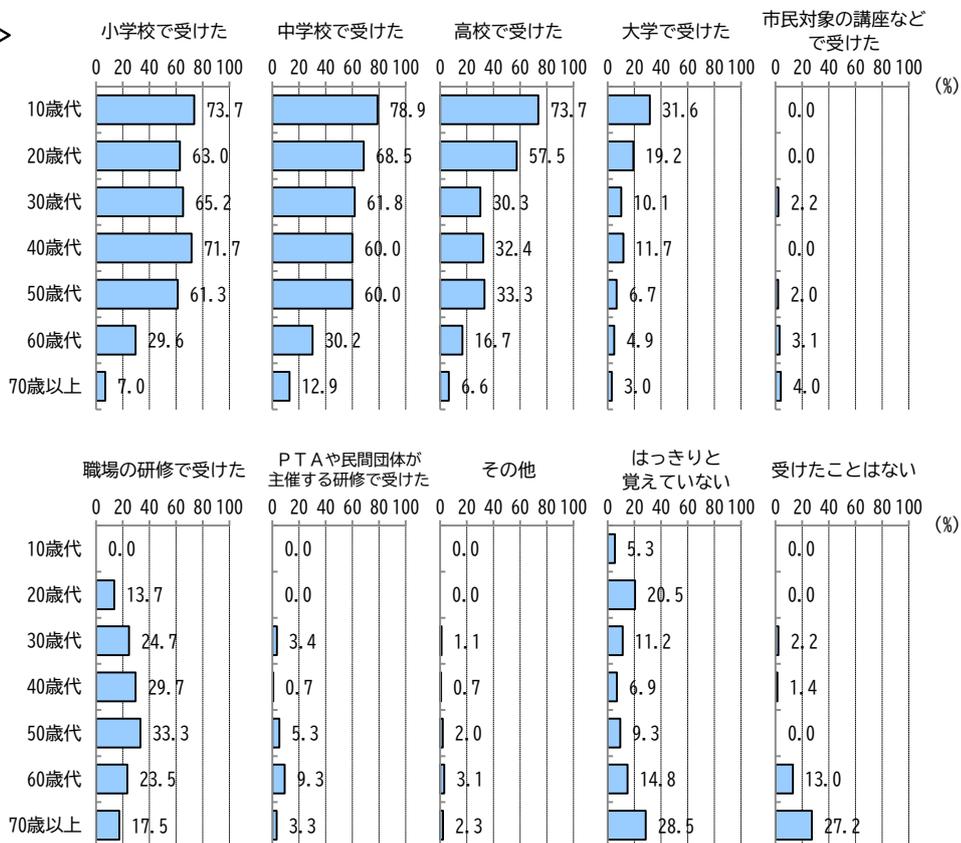
● 人権を学ぶための機会について

Q 学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがありますか？

- ・前回と比べて「学校」や「職場の研修」が増加。
- ・行政や民間が主催する学習機会への参加者は、比較的少ない。
- ・60歳代を境に、若年層は「学校で受けた」と回答した人が多く、高年層は「覚えていない」「受けていない」と回答した人が多い傾向にある。



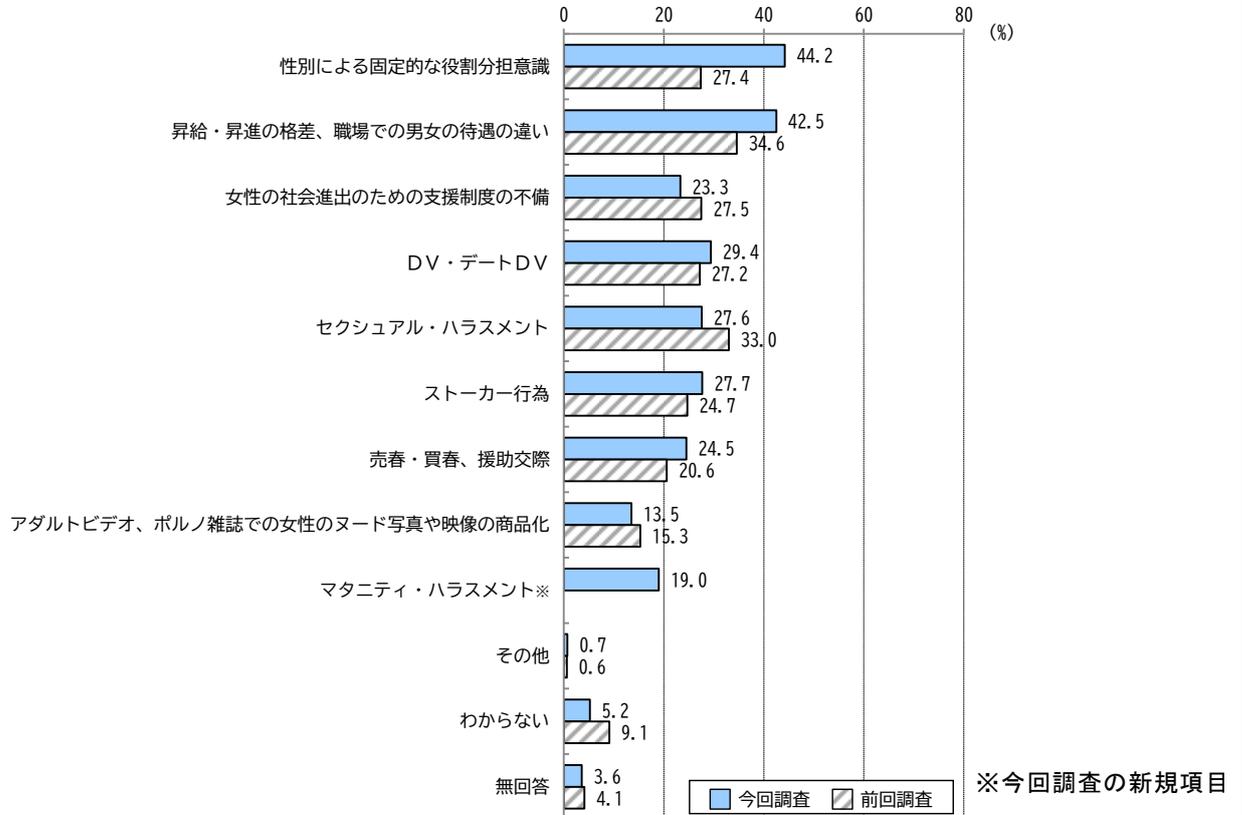
<年代別>



## ● 人権課題ごとについて

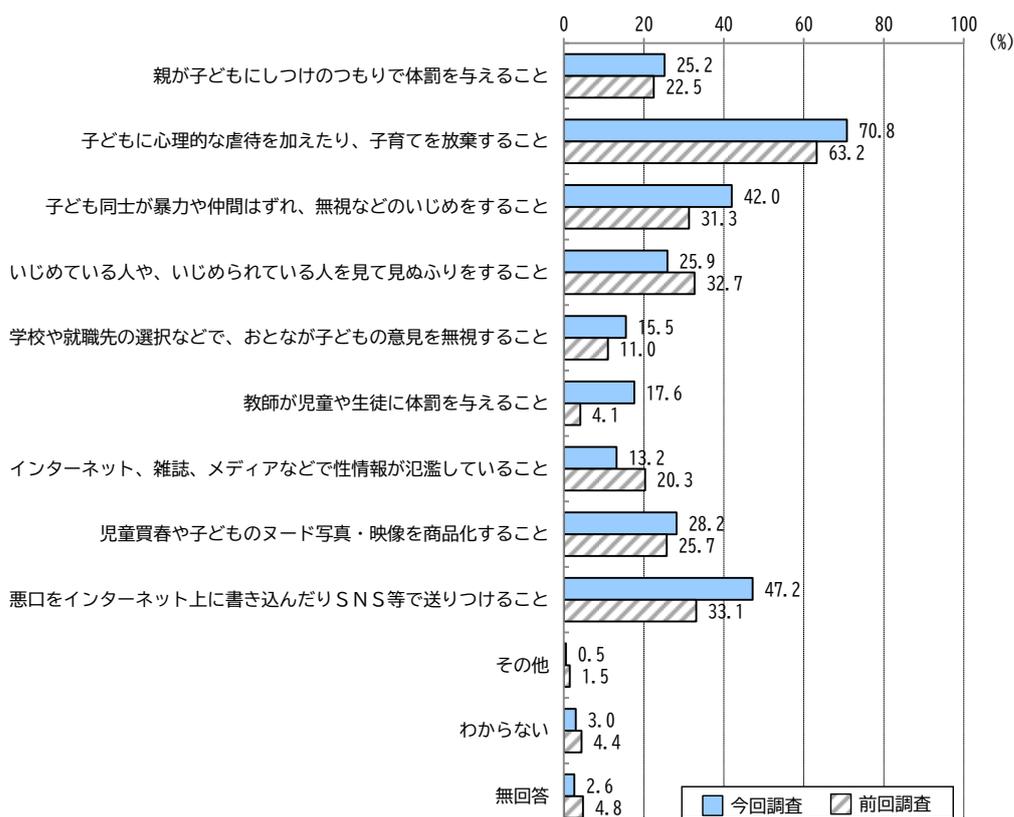
### Q 女性に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？

・前回と比べて「性別による固定的な役割分担意識」は 16.8 ポイント増加、「昇給・昇進の格差、職場での男女の待遇の違い」は 7.9 ポイント増加。



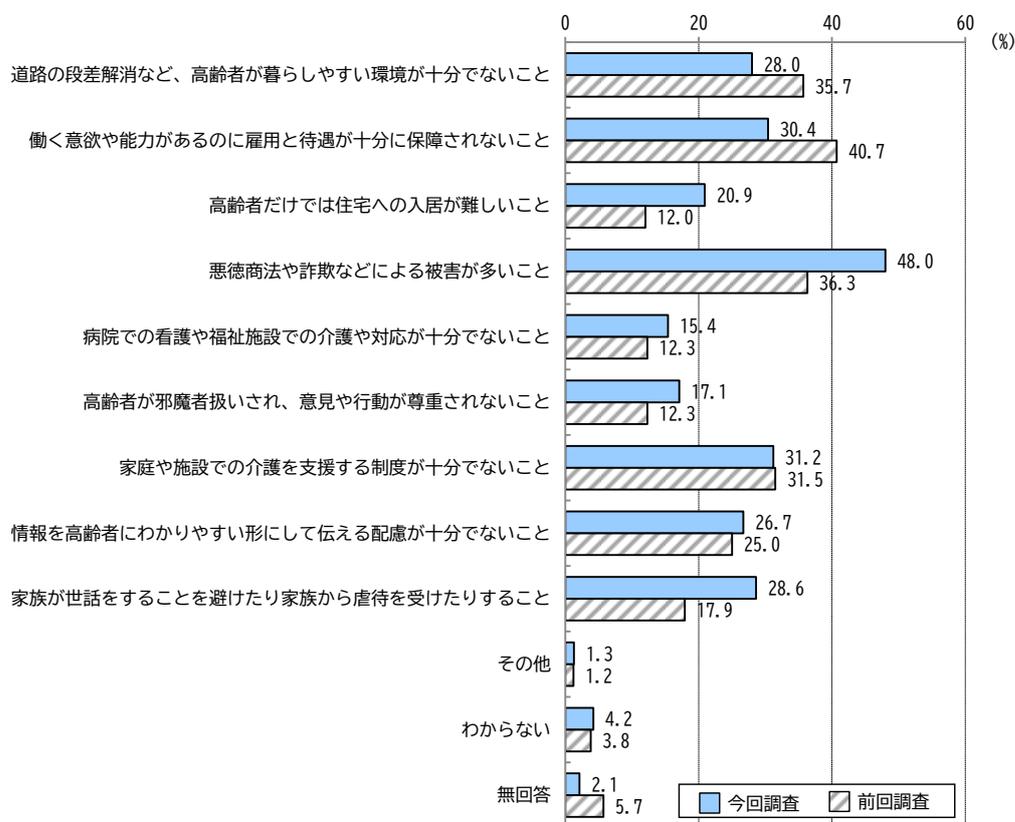
### Q 子どもに関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？

・前回と比べて「悪口をインターネット上に書き込んだり SNS 等で送りつけること」が 14.1 ポイント増加。



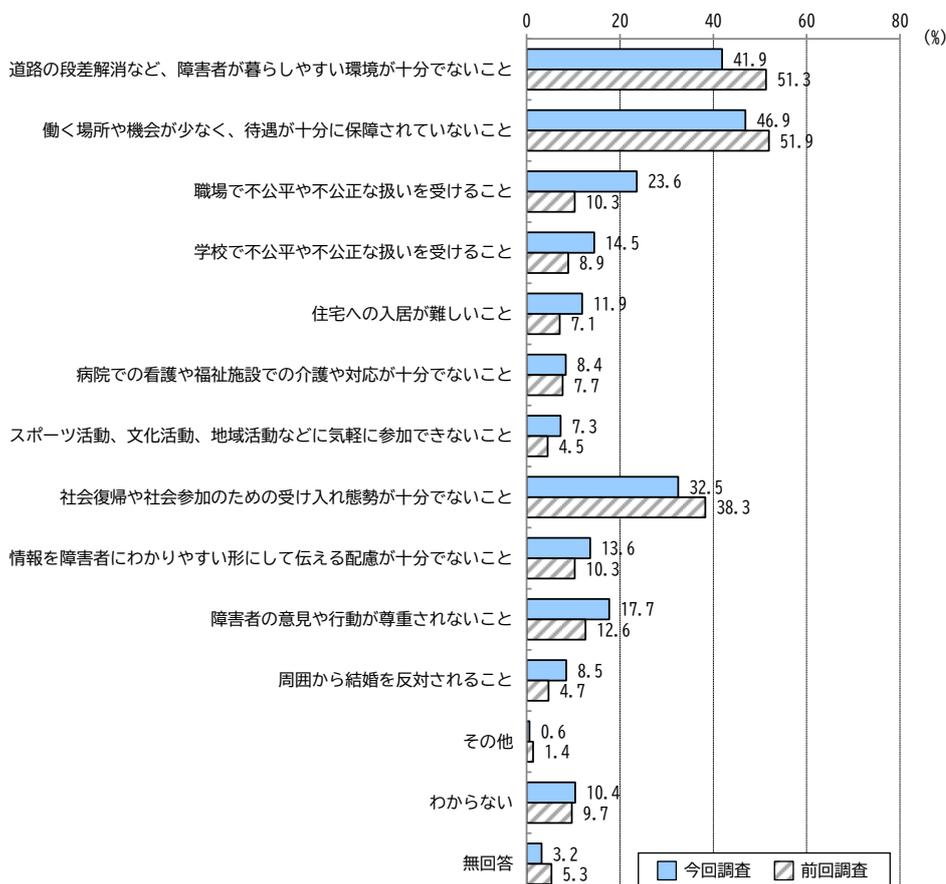
**Q 高齢者に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

・前回と比べて「悪徳商法や詐欺などによる被害が多いこと」は11.7ポイント増加、「家族が世話をすることを避けたり家族から虐待を受けたりすること」は10.7ポイント増加。



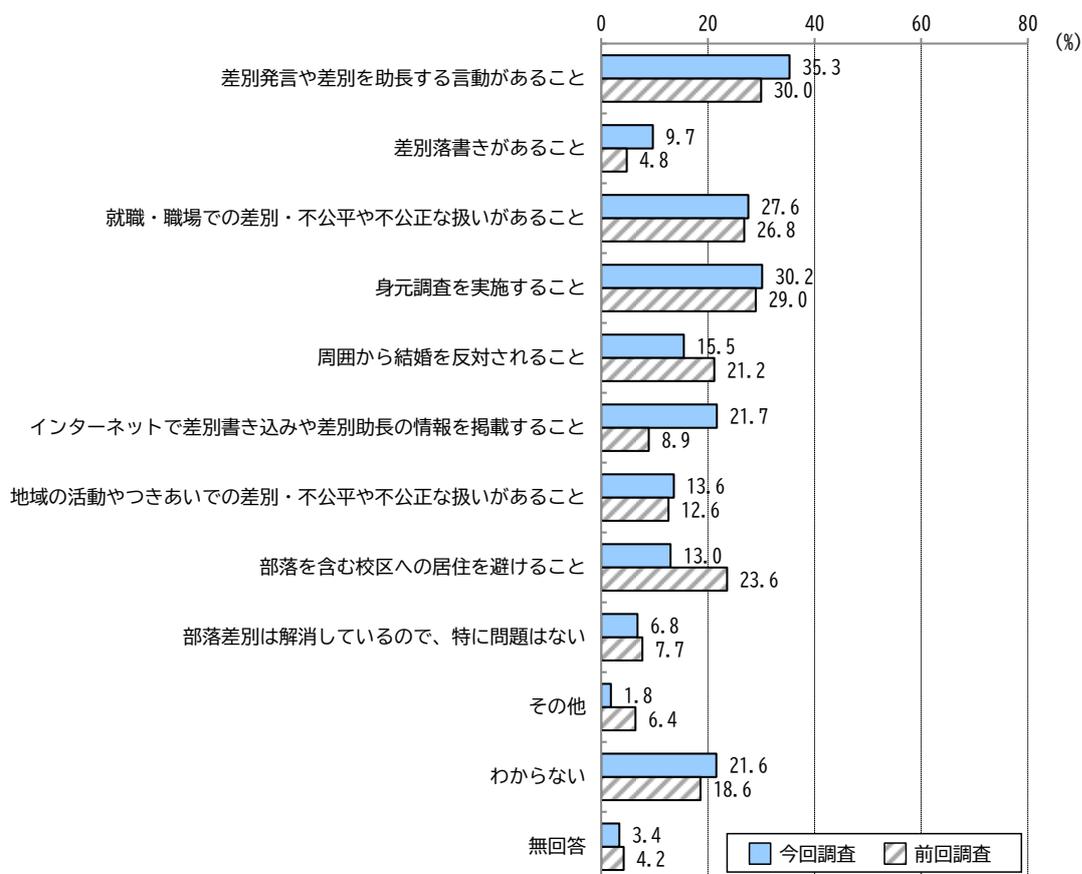
**Q 障害者に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

・前回と比べて「職場で不公平や不公正な扱いを受けること」が13.3ポイント増加。



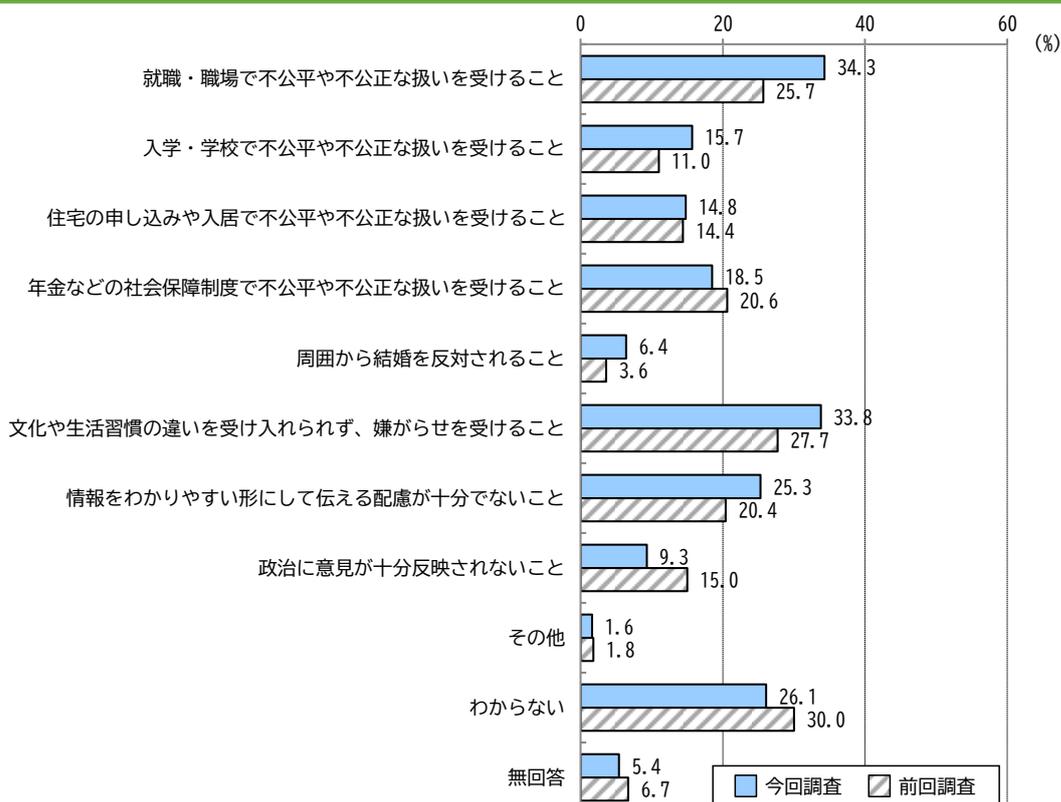
**Q 部落差別に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

・前回と比べて「部落を含む校区への居住を避けること」は 10.6 ポイント減少、一方「インターネットで差別書き込みや差別助長の情報を掲載すること」が 12.8 ポイント増加。



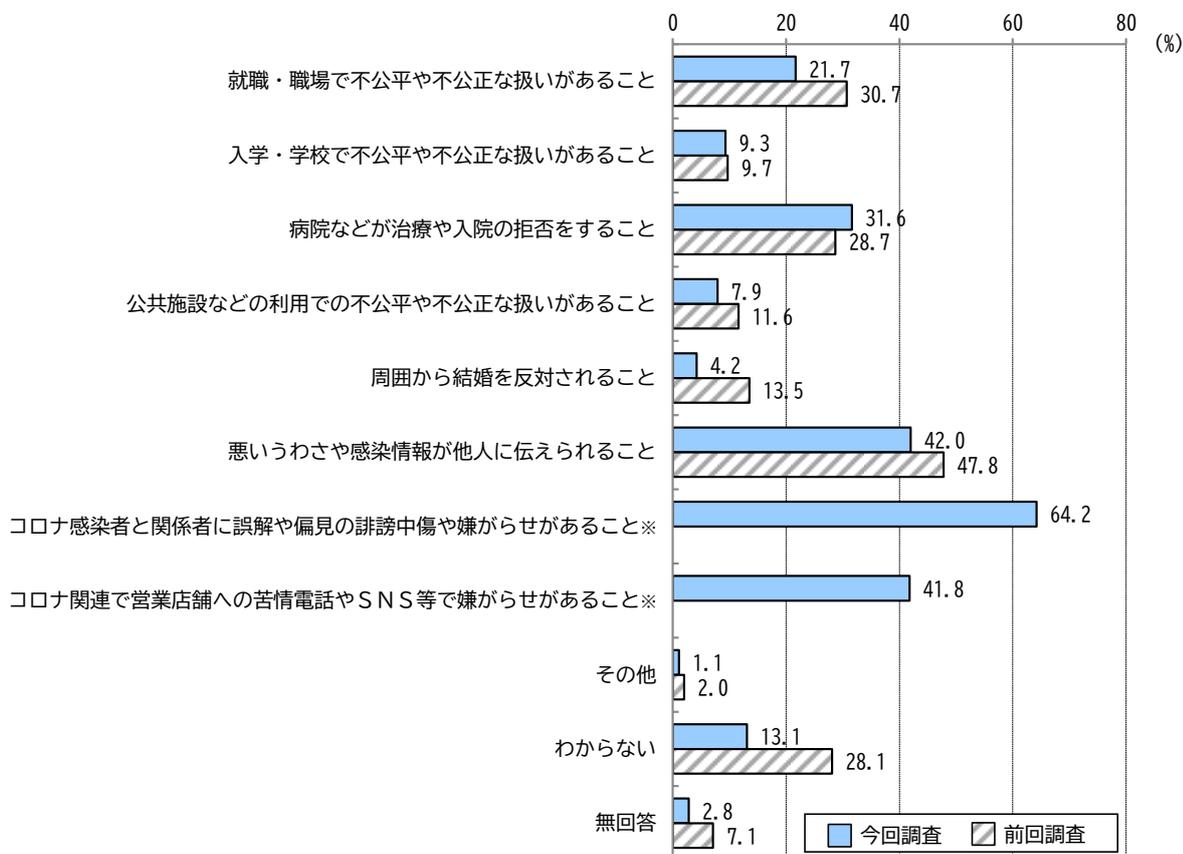
**Q 外国人に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

・前回と比べて「就職・職場で不公平や不公正な扱いを受けること」が 8.6 ポイント増加、「文化や生活習慣の違いを受け入れられず、嫌がらせを受けること」が 6.1 ポイント増加。



**Q HIV 感染者やハンセン病回復者、新型コロナウイルス感染者等に関する事で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

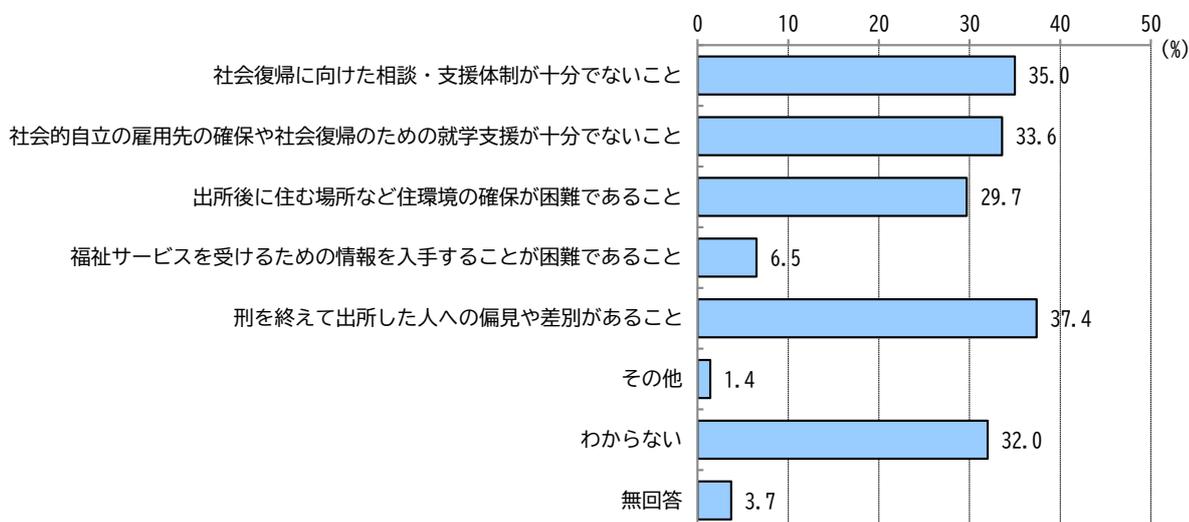
・「コロナ感染者と関係者に誤解や偏見の誹謗中傷や嫌がらせがあること」が 64.2%で最も多く、「コロナ関連で営業店舗への苦情電話や SNS 等で嫌がらせがあること」は 41.8%で、コロナ関連の項目が上位に挙げられている。



※今回調査の新規項目

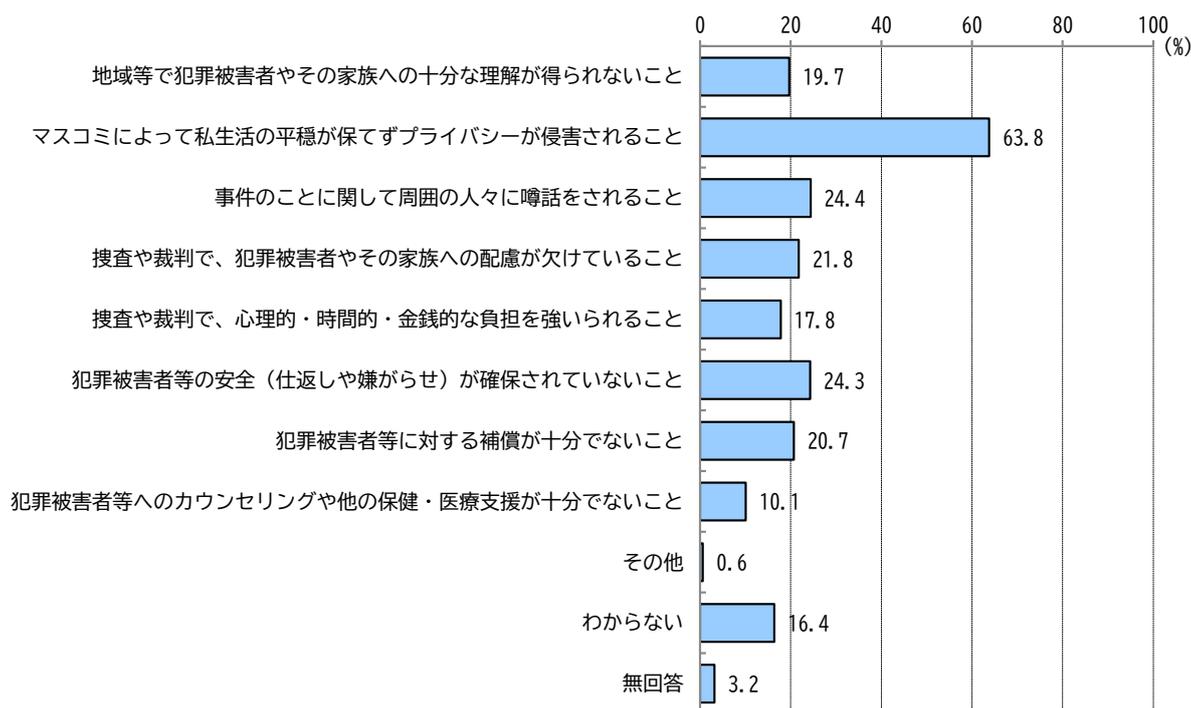
**Q 刑を終えて出所した人に関する事で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

・「刑を終えて出所した人への偏見や差別があること」が最も多い。(37.4%)  
 ・約 3 人に 1 人は「わからない」と回答。(32.0%)



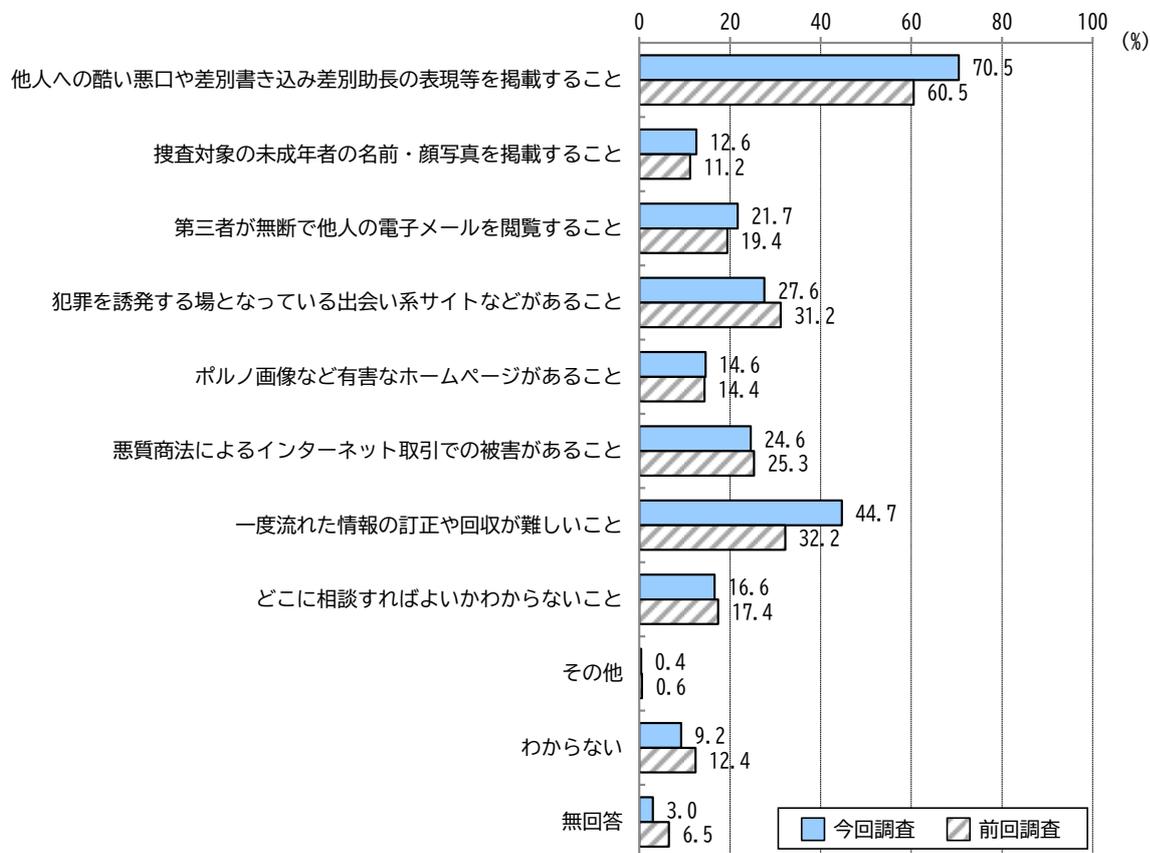
**Q 犯罪被害者やその家族に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

・「マスコミによって私生活の平穏が保てずプライバシーが侵害されること」が最も多い。(63.8%)



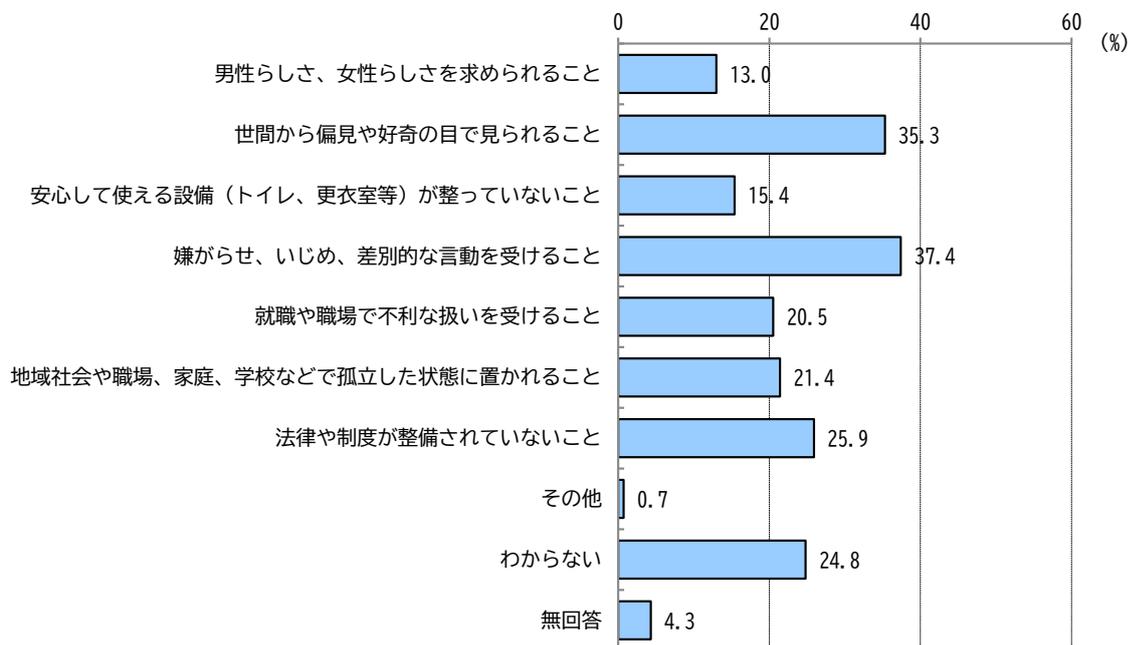
**Q インターネット上の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

・前回と比べて「他人への酷い悪口や差別書き込み差別助長の表現等を掲載すること」が10.0ポイント増加、「一度流れた情報の訂正や回収が難しいこと」が12.5ポイント増加。



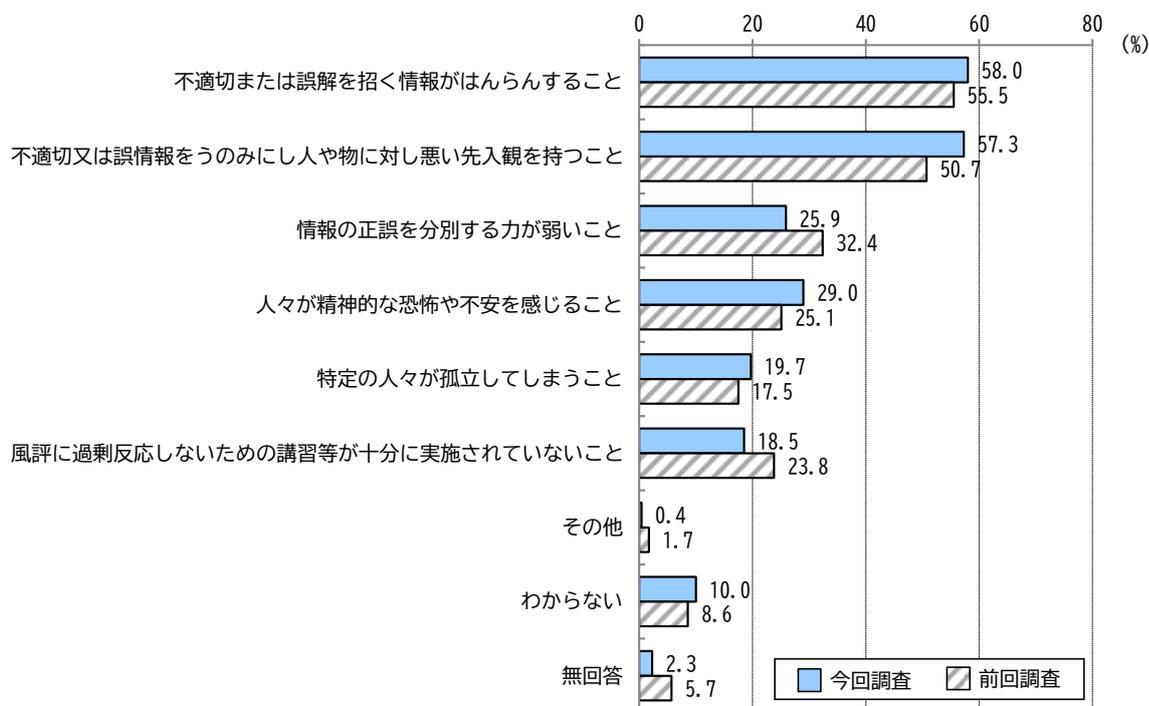
**Q 性的指向・性自認に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

・「嫌がらせ、いじめ、差別的な言動を受けること」が37.4%で最も多く、次いで「世間から偏見や好奇の目で見られること」が35.3%。



**Q 災害・事故などによる風評被害に関することで、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか？**

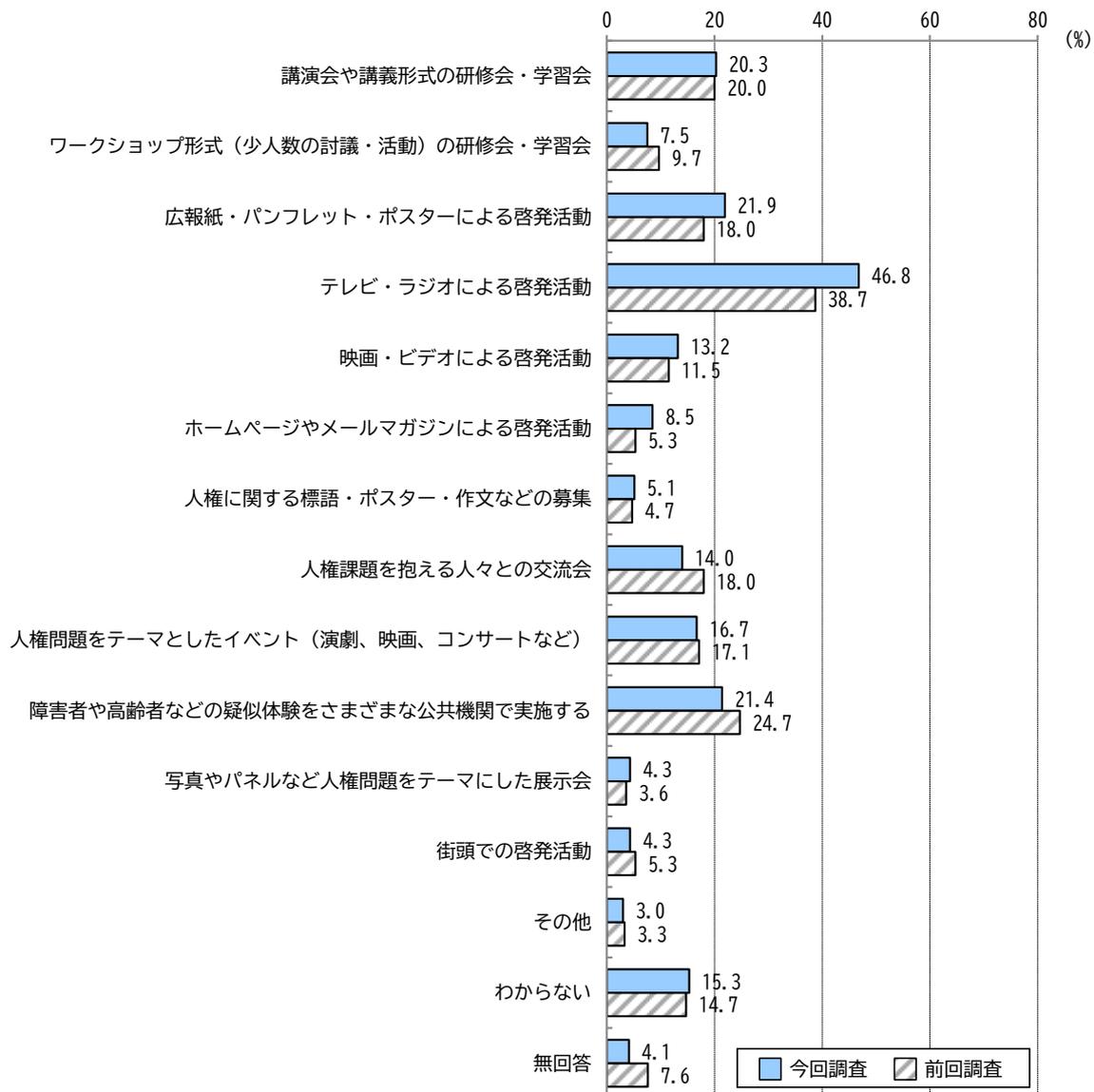
・前回と比べて「不適切又は誤情報をうのみにし人や物に対し悪い先入観を持つこと」が6.6ポイント増加、一方「情報の正誤を分別する力が弱いこと」は6.5ポイント減少。



● 人権啓発について

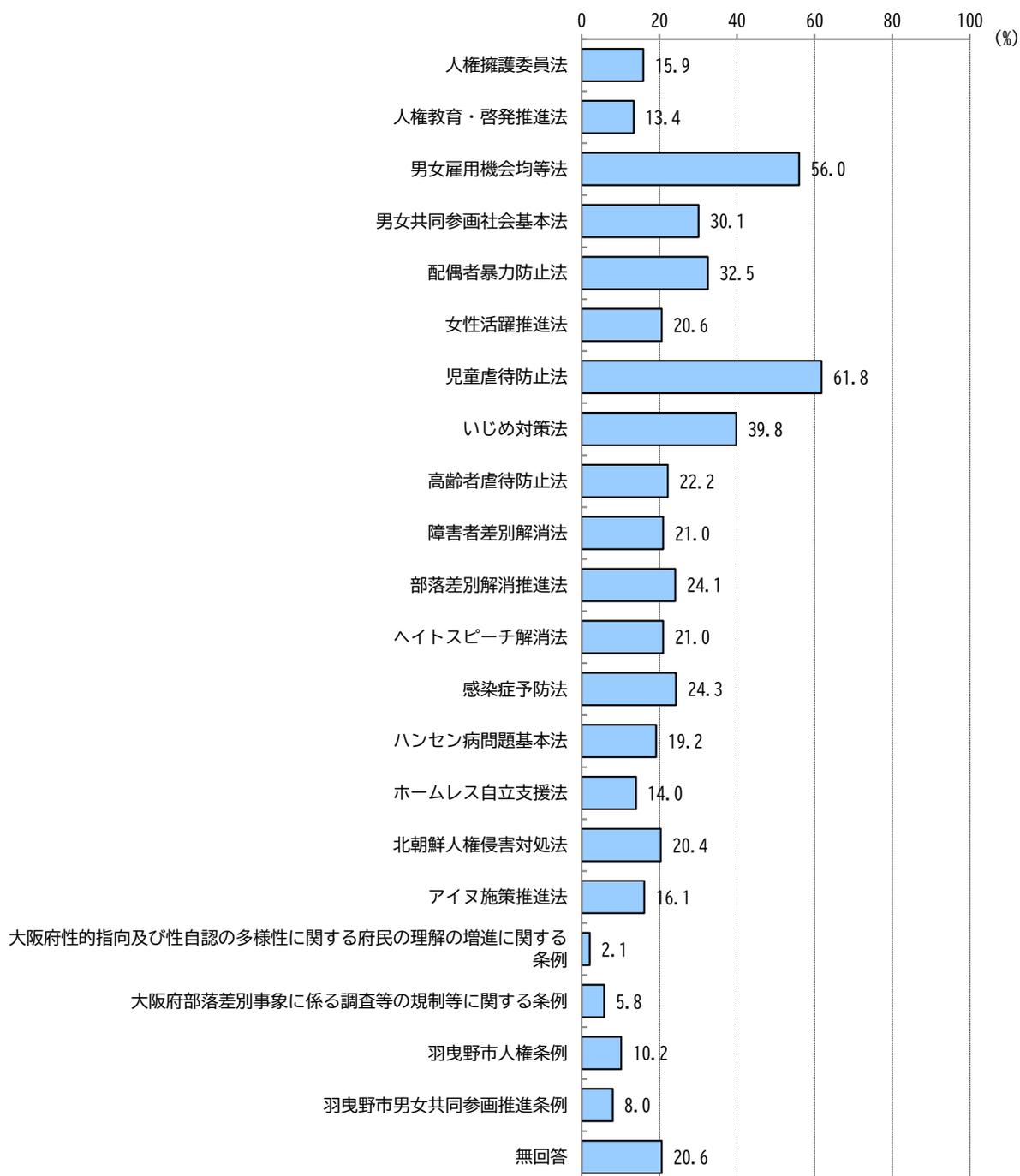
Q 人権啓発を進めるためには、どのような啓発活動が効果的だと思いますか？

・「テレビ・ラジオによる啓発活動」が46.8%で最も多く、前回と比べて8.1ポイント増加。



Q 次の人権に関する法律などを知っていますか？

・認知度の高い順に「児童虐待防止法」が 61.8%、「男女雇用機会均等法」が 56.0%、「いじめ対策法」が 39.8%、「配偶者暴力防止法」が 32.5%、「男女共同参画社会基本法」が 30.1%。



編集：羽曳野市 市民人権部 人権推進課

〒583-8585 大阪府羽曳野市誉田4丁目1番1号

電話：(072) 958-1111 (代表)

FAX：(072) 958-8061